

たくさんの方の
ご視聴、本当に
ありがとう
ございました！

令和7年度 研修会・啓発事業に関するご報告



《 基礎研修 》

*YouTube 配信による研修では、複数名による視聴のため、受講者数に比べ視聴回数は少なくなっています。

●発達障がい基礎講座●

発達障がいに関する基本的な知識等を学ぶ研修会です。ライフステージごとに講義中心の講座を開催しました。(対象：発達障がい児・者にかかわる支援者、ご本人、ご家族等)

講 師：乳幼児期・学齢期 …雲南市立病院 特別顧問 **瀬島 斉** 氏
青年・成人期 …島根障害者職業センター所長 **藤原 桂** 氏

配信期間：令和7年5月26日(月)～6月20日(金) 開催方法：YouTubeによる動画配信
受講者数：1,501名 動画視聴回数：944回 (2講座合計)

感 想：

- 現場で働く中で毎日が学びになっているが、発達障がいがある子どもへの対応は本当に難しい。発達障がいの基礎を学ぶことができて良かった。
- 職員間で連携をとりながら特性を把握し、少しでも相手に合った丁寧な関わりができるよう努めていきたいと思いました。ありがとうございました。



《 専門研修 》

●早期支援体制づくり研修●

乳幼児期のお子さんに対する発達支援のため、地域における発達診療の実態に合わせて、お子さんを中心とした家族を支えるための研修会でした。(対象：保健師、保育士、幼稚園教諭、早期の支援にかかわる方等)

「身体づくりの大切さ ～読み書きをはじめとした学びの基礎を運動発達から考える」

講 師：まなび舎ぽっと **松浦 みどり** 氏

配信期間：令和7年6月22日(日) 開催方法：集合研修(いきいきプラザ島根)

申込者数：38名 受講者数：37名

感 想：

- 遊びを通して身体づくりをするということが大事だと分かっているけど、手法やポイントが難しいと感じていたのでも、とても参考になりました。ありがとうございました。
- 先生の話がわかりやすく、楽しい時間を過ごすことができました。子どもを観察することの大切さがわかりました。身体を動かして、自分の身体を知ることができました。ありがとうございました。

●LD（学習障がい、限局性学習症）の支援を学ぶセミナー●

LD（学習障がい、限局性学習症）の方への支援を学ぶ会です。（対象：LD（学習障がい、限局性学習症）またはその傾向のある方に指導、支援に携わっている教職員、医療・福祉機関の支援者等）

雲南市LD教室『まなびい』の取り組み

～読み書きの苦手な子ども達と一緒にわかりやすい勉強のしかたを探すために～

講師：雲南市 まなびい **藤原 優子** 氏

配信期間 令和7年8月25日（月）～9月12日（金） 開催方法：YouTubeによる動画配信

申込者数：402名 動画視聴回数：294回

感想：

- LDの支援について、具体的にどのような支援を実践されているか紹介していただき、勉強になりました。一人ひとりの興味、関心から教材を作っておられ、熱心な指導に感動しました。文字を学ぶ前にそのことを体験したり、具体物を使ってイメージをもたせたりすることの大切さを知りました。
- 具体的な支援を多く取り上げながら、また実際の使い方もお示しいただきながらの講義、大変参考になりました。子どもたちがイメージできるよう、概念として取り込めるように実際に経験したり好きな世界と結びつけたりしながら学習すること、大切にしていきたいと思いました。

●発達障がい児・者支援者研修●

発達障がいのある方への支援方法を学ぶ研修会です。強度行動障害への理解や支援を学ぶ内容でした。（対象：発達障がい児・者に関わる支援者等）

強度行動障がいから考える支援 ～現場から教えてくれる大切なこと～

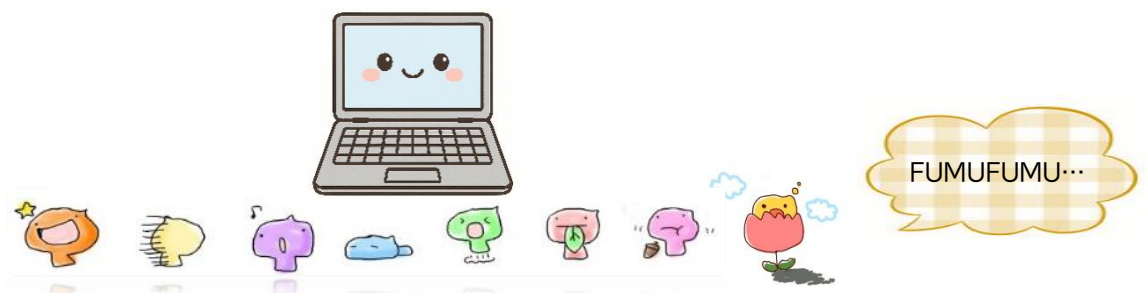
○講師 光風園 **藤松 夏穂** 氏

○配信時期 令和7年10月2日（木）～23日（木）

○申込者数：300名 動画視聴回数227名

感想：

- 普段の穏やかな状態の時に、ご本人の特性（得意なこと、苦手なこと、過敏なこと）、体調の変化（生理前、便秘、痛み等）内的な要因を理解することが大切だと改めて学びました。なぜ困った状態になってしまったのか記録し、スタッフ間で話し合い、共有することが新たな気づき、新たなより良い支援のアイデアに発展していくのではと感じました。
- 強度行動障がいに関わらず、支援していく上でその人のことをよく知ること、職員同士のチームプレーが大切であるということが知れて良かったです。事例を元に聞けたので、それが予防につながり、いいチームにもつながっていくことを頭に日々支援していけるように頑張ろうと思いました。



●発達障がい者就労支援研修●

就労支援に携わる職員や支援者が、発達障がいの正しい知識と理解を取得してスキルの向上を図るとともに、発達障がいのある方の自己理解と就労定着に向けて学ぶための研修会でした。(対象:企業、就労支援事業者 等)

発達障がいのある方への就労支援

～仕事を続けるために必要な社会性と支援方法を学ぶ～

講師：山口県立大学 **高橋 幾** 氏

配信期間：令和7年11月4日(火)～12月1日(月) 開催方法：YouTubeによる動画配信

申込者数：270名 動画視聴回数：219回

感想：

- 就労に必要な力として、ソフトスキルをどうアセスメントし、どう支援していくかが重要だが、BWAP2は、とても有効だと感じた。わかりやすい説明と使いやすさでお金もかからず、すぐに導入できるのはありがたい。できること・芽生え(援助つき支援)・できないこと(合理的配慮を求める)の分類も、当事者・職員問わず誰にもわかりやすく、理解しやすい。早速、活用していきたい。
- 日頃の支援においてハードスキルに目がいきがちですが、ソフトスキルの重要性を改めて感じました。客観的アセスメントとして、BWAP2を実施してみたいと思いました。

★発達障がい支援フォーラム2025★

発達障がいの理解を促進するための啓発フォーラムです。前半は基調講演、後半は当事者、支援者の方々を交えたシンポジウムとして開催しました。(対象：島根県内にお住まいの方)

不登校の娘が教えてくれたこと

講師：アナザーステージ 代表理事 **渡部 正嗣** 氏

配信期間：令和7年12月15日(月)～令和8年1月23日(金) 開催方法：YouTubeによる動画配信

申込者数：411名 動画視聴回数：フォーラム260回 シンポジウム204回

感想：

- おそらく多くの方がそうであるように、私も学校教育への疑問や関心を持っていないことに気づかされました。小さな単位で同一を強く求められる教室…多様化の時代に合わせた教育の在り方とはなんだろうと考えるきっかけとなりました。
- 現在、支援クラスにいる孫の事が気になり受講しました。つい言うってしまう「今日は学校行けた？」「お友達と話した？」などなど。皆さんのお話を聞きながら、私はあなたの事心配しているのよって、本人には分かって欲しいと思っの言葉かけなんだけど、かえって苦痛を与えていたのかなと思いました。たくさんの気づきをありがとうございました。
- 子どもも親も異なる苦悩を抱えているからこそ、怒りや苛立ちをぶつけ合うのではなく、ゆっくりでもいいから一緒に悩んでいくことが大切なのだと分かった。

発行元：社会福祉法人 親和会

島根県東部発達障害者支援センター **ウィッシュ**

出雲相談室：出雲市大津町1139 出雲合同庁舎内1階

松江相談室：松江市東津田町1741-3 いきいきプラザ島根内2階

TEL：050-3387-8699 FAX：050-3730-9745

